

強迫症の治療における入院加療の有効性の検討

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。
本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	強迫症の治療における入院加療の有効性の検討
倫理審査 受付番号	第 2845号
研究期間	2018年 2月倫理審査承認日～2024年12月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に兵庫医科大学病院 精神科神経科を受診され、強迫症と診断された方 2012年 4月 1日～2024年12月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報、アンケート
研究概要	（研究目的、意義） 強迫症の治療における入院加療の意義や影響を調べることを目的としています。 （研究の方法）

今回の研究では、入院加療を経験された強迫症の患者さんを対象として、退院後の臨床経過を調査します。入院加療の内容や、アンケート用紙、面接内容、退院後の再発率や症状の変遷などの情報を利用し入院加療の影響や有効性を検討します。

（個人情報の取扱い）

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」及び「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。あなたから提供された検体・検査データを医療の向上を目的として、現時点では特定されていない将来の研究のために用いる可能性または他の研究機関に提供する可能性があります。その際は、改めて倫理審査委員会の承認を得る予定である。

本研究に関する 連絡先	兵庫医科大学病院 精神科神経科 松永 寿人（研究責任者） 向井 馨一郎（研究担当者） TEL 平日 0798-45-6041
----------------	---